

令和3年度「港湾施設の維持管理に関する技術講習会」を開催

東北地方整備局では、管内の港湾管理者及び民間施設所有者並びに当局において港湾施設の維持管理業務等に従事する職員を対象に、港湾施設の適切な維持管理に対応すべく実務技術の取得とスキルアップ向上を目的に、標記講習会を平成28年度から継続開催しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を実施のうえ、WEB配信と現地対面方式を併用して開催しました。

<背景>

港湾の施設は、高度経済成長期に集中的に整備され、現在老朽化が進行している状況にあり、港湾の基幹的役割を果たす岸壁では、建設後50年以上の施設が2020年の約2割から、20年後の2040年には約7割まで急増する状況にあります。このような中、老朽化が起因とみられる港湾施設の損傷事故が毎年のように発生しており、維持管理計画に基づく適切な維持管理の推進が求められています。

<開催概要>

○会場:①秋田港(WEB)、②宮古港(WEB)、③小名浜港(WEB、現地)

○日時:①令和3年10月14日(木) 13:30～10月15日(金) 15:00

②令和3年10月18日(月) 13:30～10月19日(火) 15:00

③令和3年10月28日(木) 13:30～10月29日(金) 15:00

○参加者:①34名(港湾管理者19名、民間事業者10名、東北地方整備局5名)

② 8名(港湾管理者5名、東北地方整備局3名)

③37名(WEB:港湾管理者20名、東北地方整備局6名)

(現地:港湾管理者4名、民間事業者2名、東北地方整備局5名)

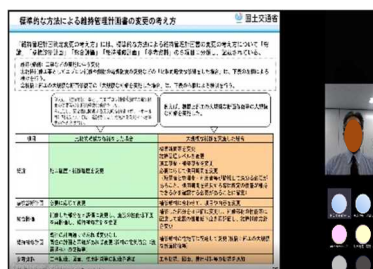
○内容

1日目は、港湾施設の維持管理に関する技術情報(基礎的な知識、標準的及び簡易的な維持管理計画の変更方法、LCCの算定、効率的な施設点検診断、維持管理補修工法)について講義を行いました。

2日目は、岸壁における点検診断(電気防食電位測定含む)、点検診断簿を用いた点検及び評価判定(グループ討議)の実習、新技術(GPS機能付きカメラと写真ソフト)の紹介を行いました。

講習会のグループ討議では点検結果を用いた各個人の評価結果について、活発な意見が出され、受講後の感想では「今後の維持管理計画書の変更作業に活かしたい。」「新技術についてもっと多くの事例が聞きたかった。」等の声がありました。

本講習会が港湾施設の適切な維持管理に活かされるよう取り組んでいきたいと考えております。



【講習会状況(WEB)】



【点検診断実習状況】



【班別討議状況】